

牛道春秋

駐在妻の欄

▼十一月に白鳥中学校の合唱祭がありました。▼舞台袖から長男が入場してくる姿を見ていましたが、私の父の歩き方にそっくりでビックリしました。▼猫背で、がに股歩きをする姿は、チビツ子ギャングの様に滑稽でした。▼長男は合唱祭係なので、クラス合唱の前に大観衆の前でスポットライトを浴びながら発言する機会を与えられていました。▼これが思いのほか、しっかりと話しぶりで、あがり症の夫よりも将来は明るいかもしいれなと感じました。▼ただ一つ残念だったのは、散髪に行かずボサボサ頭のままだったことでした。▼夫の将来は明るくありませんが、スポットライトを浴びると頭頂部が明るくなるので、長男も夫に倣って坊主頭にすれば良かったと後悔しました。▼ふと長男の首元を見ると、失くしたはずのネクタイをきっちりとしていることに気が付きました。▼あれだけ探してもなかったネクタイをしていたことに疑問を感じ、帰宅した長男を問い詰めると「クラスの女の子が貸してくれた。」と白状しました。▼「私が学生のころだったらセーラー服と学ランだから借りるのは無理だなー。」と、時代の移ろいに思いをはせながら、夫が警察手帳や拳銃を失くしてクビにならないよう厳しく躡ていこうと決意しました。